

【総領事館からのお知らせ：ニュピ祭における注意喚起】

平成29年3月16日(総17第05号)

在デンパサール日本国総領事館

1. インドネシアのバリ島では、3月28日(火)はニュピ祭日(サカ暦新年)に当たります。ニュピ祭とは、断食と瞑想に専念するバリ・ヒンドゥー教徒の精神修養の日のことで、当日、バリ島では火や電灯が一切使われないほか、飲食店や商店などの営業が禁止され、外国人も含め様々な制約が生じます。
2. バリ州政府は、このニュピ祭が円滑に実施されるよう、外国人に対しても理解を求めるとともに、以下の内容の通達を発出しています。
 - (1)3月28日の午前6時(実際には28日未明の午前0時頃)から翌29日の午前6時までの24時間、火と電灯を使用しないこと、外出しないこと、娯楽など静粛を妨げる行為を行わないこと。
 - (2)そのため、バリ島のングラ・ライ国際空港においては、国内線・国際線ともにトランジット便及び緊急着陸便を除き、航空機の離発着を禁止する。(トランジット便の場合、乗客は空港内に留め置かれる。)
 - (3)また、バリ島に出入するための海港及び島内のターミナルをすべて閉鎖する。
3. つきましては、3月28日前後にバリ島への渡航・滞在を予定されている方は、ニュピ祭の行動制限が外国人を含むバリ島内のすべての人々に適用され、警察、医療機関、消防等の治安及び人命にかかわる特別かつ緊急を要する活動を除き、島内での屋外行動が禁止されることから、ニュピ祭当日はホテル等の宿泊施設から外出ができないこととなりますので、現地事情を理解するとともに、現地滞在時は十分注意してください。
4. なお、インドネシアについては、別途危険情報(http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pchazardspecificinfo_2016T226.html#ad-image-0)が発出されていますので、同情報もご確認ください。
5. 海外渡航の際には万が一に備え、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

3か月以上滞在する方は、緊急時の連絡先を確認できるよう、必ず在留届を提出してください。
(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet>)

3か月未満の旅行や出張などの際には、渡航先の最新安全情報や、緊急時に連絡を受け取ることができるよう、外務省海外旅行登録「たびレジ」に登録してください。
(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>)

以上